

《担当者名》高橋 亮 ryotakahashi@hoku-i-ryo-u.ac.jp

【概要】

コーチングについての本質を理解し、スポーツ指導者としての資質を育むための基本的知識を身につける。特に初心者や子供、障害者に対する指導法を中心に解説する。

【学修目標】

- ・スポーツ領域における倫理的問題について説明することができる
- ・スポーツ指導に関する基礎的な知識について説明することができる
- ・スポーツ指導に関して、実践効果やリスク、実現可能性等を考慮し、多様なニーズに応じた具体的な提案ができる

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	スポーツの価値とインテグリティ	人間にとっての「スポーツ」の意義について理解できる / スポーツ・インテグリティの脅威について理解できる	高橋
2	スポーツ指導者としての心構え	指導としての倫理観を確立し、理想像を具体化できる	高橋
3	運動を学ぶ・教えることの大切さ ～乳幼児の運動発達から～	子供の動作の獲得や原始反射、感覚 - 運動系の神経調節など人間の基本的な運動発達について理解できる / 「動くこと」「運動スキルを獲得すること」それらを引き出す「環境を作ること」の意義を理解することができる	高橋
4	運動を学ぶ・教えることの大切さ ～発達性協調運動障害 (DCD) から～	運動障害について理解できる / バランス能力、微細運動、身体意識、両側性の統合、運動プランニングなど、各運動スキル・領域の獲得・向上に向けた具体的指導内容を提案できる	高橋
5	プログラムの立案	実態把握 目標設定 トレーニング内容の具体化 実践 振り返り 実態の把握のサイクル及び各パートについて具体的に理解できる	高橋
6	組織・集団のマネジメント	組織・集団にまつわる諸要因（意思決定方法、人間関係の影響、問題の回避・解決策など）について具体化でき、マネジメントの重要性を理解できる	高橋
7	組織・集団のマネジメント	組織・集団にまつわる諸要因（意思決定方法、人間関係の影響、問題の回避・解決策など）について具体化でき、マネジメントの重要性を理解できる	高橋
8	事例：視覚障害者にとってのスポーツとそのコーチング	視覚障害者のスポーツについて各競技の特徴や指導の際の留意点などが理解できる	高橋
9	事例：神経発達障害者にとってのスポーツとそのコーチング	神経発達障害者のスポーツ実態について理解でき、適切なスポーツ指導について具体的に提案できる	高橋
10	コーチング演習	効果的なディスカッションの進め方やモチベーションの高め方、課題を具体化し伝達することの難しさ等について理解する	高橋
11	コーチング演習	効果的なディスカッションの進め方やモチベーションの高め方、課題を具体化し伝達することの難しさ等について理解する	高橋
12	福祉施設における身体活動	福祉施設における児童の身体活動、運動指導の実際について事例を基に解説する	高橋
13	福祉施設における身体活動	福祉施設における児童の身体活動、運動指導の実際について事例を基に解説する	高橋
14	福祉施設における身体活動	福祉施設における児童の身体活動、運動指導の実際について事例を基に解説する	高橋
15	総括	これまでの学習内容について総括し言語化できる	高橋

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

- ・講義ごとの課題レポート 70%（1回5点×14回）
- ・最終レポート 30%

毎回の課題レポート及び最終課題レポートは下記の点から評価する

- 授業内容が反映されているか
- 自身の意見を述べているか
 - は具体的か
 - に合理性・妥当性はあるか

【教科書】

特になし。必要に応じて適宜資料を配布する。

【参考書】

特になし。必要に応じて適宜資料を配布する。

【学修の準備】

- ・講義で提示する事前・事後課題（4時間）の学習を行うこと

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP5： 多様な文化や価値観を尊重して地域社会に貢献できる能力を身につけている。

DP4： 保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。

【実務経験を活かした教育内容】

障害児者のスポーツの指導は柔道の指導経験を基本・応用して、コーチングに一般に関して具体的な事例・エビデンスに基づいて講義する。